

# あなたにピッタリの “メッシュ”インカムが見つかる!

セナ・インターコムといえば、幅広いモデルラインナップに定評がある  
そしてこのラインナップに、最近「メッシュ2.0」採用モデルが充実してきている  
シンプルな操作ですぐに仲間と繋がり、いつも快適なグループ通話を楽しめる  
そんなメッシュ2.0モデルの中から、きっとあなたにピッタリの一台が見つかるだろう

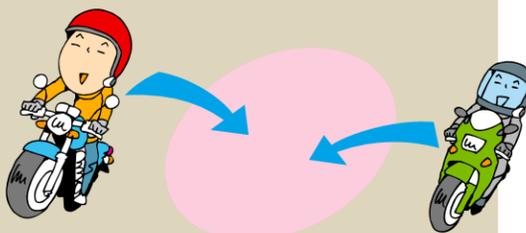
文/八百山ゆーすけ  
問:セナブルートウースジャパン <https://senablueetooth.jp>



SENAメッシュの特徴

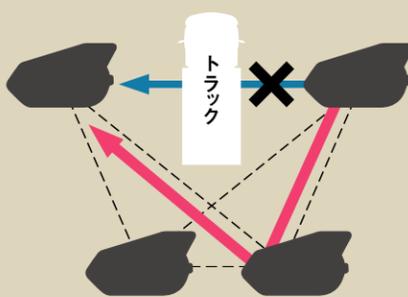
## 1 接続方法はワンプッシュ!

メッシュ・グループ通話の起動操作はシンプル。各モデルに設けられた「メッシュ・ボタン」をひと押しするだけ。メンバー間を接続するための操作などが必要なく、誰でもすぐにグループ通話を楽しめる



## 2 グループに“入る”イメージ

Bluetooth方式では最初にメンバーを順番に接続する操作が必要だ。一方、メッシュ方式はネットワークの一台として自動的に接続されるため、ユーザーはネットワークに“参加する”感覚で使える



## 3 どんなシチュエーションでもフルオートで最適な通信環境

網目状のネットワークを形成してメンバー間の通信を行うメッシュ2.0技術。たとえひとつの通信経路の状態が悪くなくても、他の経路でバックアップしてくれるため、常に快適なグループ通話が維持される



## 4 「オープン」と「グループ」の使い分け

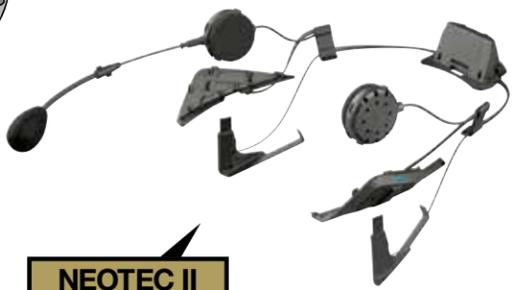
「オープンメッシュ」では9つのチャンネルがあり、チャンネルごとに不特定多数のメンバーと通話が可能。「グループメッシュ」はグループ作成者がメンバーを招待する形でプライベートな会話を楽しめる

会話も走行シーンも、  
全部収めたい人

## 50C

価格: 7万5240円  
サイズ: 95×59×31mm (メインユニット)  
通話距離: 約2.0km (Bluetooth)  
約2.0km (Mesh)

インターコムとアクションカムが一体化した独自のモデル。仲間とのメッシュ・インターコム通話を映像とともに記録できるという点で画期的だ。クアンタムシリーズとしての機能・性能も申し分ない



## SRL-MESH

価格: 4万8840円  
サイズ: 82×39×33mm (メインユニット)  
通話距離: 約2.0km (Bluetooth)  
約2.0km (Mesh)

SENAとSHOEIが共同で開発したNEOTECH II、J-Cruise II、GT-Air IIの各ヘルメット専用モデル。ヘルメットの各部に取付部が設けられていて、インターコムがヘルメットと完全に一体化してくれる

NEOTECH II

J-CRUISE II・GT-AIR IIユーザー

## SRL-EXT

価格: 4万4440円  
サイズ: 108×44×20mm (メインユニット)  
通話距離: 約2.0km (Bluetooth)  
約2.0km (Mesh)

SHOEIのZ-8専用モデルのSRL-EXTは、左右がくびれたZ-8の帽体にピッタリ取り付けられるように設計されている。もちろんメッシュ2.0グループ通話や、ハーマン&カードンのサウンドも実装されている

SHOEI・Z-8

ユーザーはコチラ



THE 王道!  
フラッグシップモデル

## 50S

価格: 4万8840円(デュアルパック8万9980円)  
サイズ: 102×56×27mm (メインユニット)  
通話距離: 約2.0km (Bluetooth) 約2.0km (Mesh)

セナ・インターコムの最高峰とも言えるフラッグシップモデル。メッシュ2.0グループ通話機能はもちろんのこと、サウンドにはハーマン・カードンの手によるチューニングが施されている。充電しながら自動でファームウェアがアップデートされるWi-Fiケーブルを採用するなど、プレミアムモデルに相応しい機能と性能を備えている

## 30K

価格: 4万2240円  
サイズ: 102×56×27mm (メインユニット)  
通話距離: 約2.0km (Bluetooth)  
約2.0km (Mesh)

セナ・メッシュテクノロジー初搭載のモデルがこの30Kだ。もちろん、オープンメッシュ、グループメッシュをはじめ、「メッシュ2.0」グループ通話機能は50シリーズ同様のスペックを備えている

メッシュを体感したい、

SENA MESHの原点



## 50R

価格: 4万8840円(デュアルパック8万9980円)  
サイズ: 97×48×27mm (メインユニット)  
通話距離: 約2.0km (Bluetooth)  
約2.0km (Mesh)

50Sの機能と性能はそのままに、スリムなフォルムと3ボタンレイアウトを採用。コンパクトな佇まいは、スポーティなフルフェイスヘルメットやスポーツバイクのライダーに最適だ

スポーティな

フォルムが好きな人



全員と接続。通話中に接続が切れたり、メンバーから別れて再び合流したようなときにも、自動的に再接続してくれる。ライダーはインターコムに煩わされることなく、ライディングに集中できる。

そんなメッシュ2.0テクノロジーを採用したモデルは、求めやすい「30K」から、フラッグシップの「50S」「50R」、SHOEIのヘルメット専用モデル「SRL・MESH」「SRL・EXT」、さらにはセナ独自のカメラ一体型インターコム「50C」まで、幅広いバリエーションが揃っている。

これまで「セナ・メッシュ」を使ってみたけれど、自分の使い方に合ったモデルがない」と見送っていたユーザーにも、きっと自分にピッタリ合うメッシュ・インターコムの一台が見つかるはずだ。

メッシュ2.0モデルからピッタリの一台が見つかる

クアンタムシリーズのようなプレミアムモデルからベーシックな機能を持つシンプルなモデル、さらにはヘルメット専用モデルやカメラ一体型インターコムといった独自のモデルまで、豊富なラインナップを揃えるセナは、ユーザーそれぞれのニーズに合った一台が選べると定評がある。そんな中でも、独自の「セナ・メッシュ2.0」というグループ通話技術を採用したモデルのバリエーションが、今、充実してきている。

セナのメッシュ2.0テクノロジーは、接続人数の制限がないことに加えて、独自の「チャンネル」やプライベートグループを作ることができると、グループの大きさに合わせて使うことが可能。さらに、メンバー間「メッシュ」のようにネットワークを作って通信するため、お互いの間に他のクルマのような障害物が入って通信状況が悪くなくても別の経路で通信するため、快適な通話ができる。

そのうえ、使い方がシンプルなのがメッシュ2.0の最大のメリット。最新技術という使い方が難しいイメージを持つかもしれないが、メッシュ2.0はボタンひとつ押しするだけでメンバー